

会 議 報 告 書

開 催 年 月 日	平成 28 年 2 月 9 日（火）午後 5 時 05 分～6 時 05 分		
会 議 の 名 称	平成 27 年度 第 18 回 勤務医部会常任委員会		
開 催 場 所	大阪府医師会館 6 階 61 会議室	会 議 の 主 催 者	勤務医部会
役員等出席者			
出 席 者 数	19 名（幸原・中島副部長、津川・新井・一番ヶ瀬・山根・木下・田中一郎・福田・林・伊藤・草野・井上・宮越・総野・福並常任委員、阿部・橋本・濱田顧問）		

1. 開 会・挨拶

2. 協 議 事 項

- 1) 平成 28 年度（勤）事業計画（案）について [幸原副部長]
 前回到引き続き協議。資料をもとに、平成 27 年度から平成 28 年度への変更点を確認。事務局案による項目の削除や追加について協議し、事務局案を承認した。
- 2) 平成 28 年度（勤）委員総会の開催について [幸原副部長]
 事務局より、資料に基づき説明。平成 28 年度の役員改選に関する協力依頼と、改選後となる 7 月 26 日（火）の（勤）常任委員会終了後、18 時より（勤）定例委員総会を開催したいと提案。出席委員から特に意見が無かったため、事務局案のとおり承認した。

3. 報 告 事 項

- 1) 府医各種委員会等報告について
 1. 平成 27 年度 第 8 回 調査委員会（1/28・木） [一番ヶ瀬常任委員]
 2. 平成 27 年度 第 5 回 事故調支援委員会（1/30・土） [一番ヶ瀬常任委員]
- 2) その他報告
 1. 平成 27 年度（通算第 54 回）（勤）研修会（1/26・火） [幸原副部長]
 1 月 26 日（火）の（勤）研修会を終えて、改めて「医療事故調査制度」における留意点などについて意見交換を行った。主に医療による死亡の際に勤務医がとるべき行動として、遺族の許可を得てから、死後変化の起こりにくい血液を血清として室温で残すことや、眼球の眼房水を残すことが死因の判断材料となることなどが挙げられた。また、事故調に関する今後の具体的な事例があった場合には、勤務医部会としても検討していくこととした。

4. そ の 他

1. 平成 27 年度（勤）ブロック合同懇談会の開催について（進捗状況） [事務局]
 各ブロック合同懇談会について、日程等の再確認と、第 1～4 ブロック合同懇談会の講師に大阪医科大学の村尾先生が追加になったことを報告。また、本日現在の参加申込者数を報告し、参加希望者は事務局まで連絡するよう依頼した。

	日 程	申込数（2/9 現在）
第 1～4 ブロック合同懇談会	平成 28 年 2 月 17 日（水）	48 名
第 5～7 ブロック合同懇談会	平成 28 年 2 月 16 日（火）	31 名
第 8～11 ブロック合同懇談会	平成 28 年 3 月 1 日（火）	46 名

5. 閉 会

以 上